



その男、
さいとう健が
目指して
いること。



その男、
さいとう健が
考えて
いること。



みじみと感じました。多くの方々の情けに支えられて自分は生きている。そして、今度は、私がお役に立つ番だと心から思うっております。

それでも、こんな逆風で本番を迎えるとは夢にも思っておりませんでした。本当に厳しい選挙でした。生き残った。これが、選挙後の感想です。皆さんのおかげで生き残りました。

国会経験のない自民党の新人は、わずか4人。自民党も歴史的敗北で野に下りました。

おかげさまで現在、党の環境部会長を拝命し、地球環境問題を中心に、子どもたちに何とかいい環境を残したいという思いで取り組んでおります。また、国会対策委員、ネットメディア局長、国際局次長、女性局次長等々の役職にも就けていただきました。

国会の方では、環境委員会理事、議院運営委員会委員、政治倫理審査会委員を拝命しております。先日は、衆議院予算委員会でも1時間質問をさせていただきました。鳩山総理ほか閣僚の皆さんに地球温暖化問題について質問し、それがNHKで全国放送されました。

ですが、さいとう健の最大の仕事は、やはり、次の選挙で当選することでありました。国会開会中は東京で与えられた仕事に全力集中し、土日や、国会閉会中は、地元での活動に朝から晩まで集中する。そういうメリハリのついた活動にまい進していくつもりです。選挙戦終盤、さいとう健は、こう訴えました。

「自民党が厳しい審判を受けることは避けられない。勝つにせよ、負けるにせよ、自由民主党は生まれ変わらねばならない。そのための火種をぜひ皆さんに残していただきたい。この千葉七区に、さいとう健という火種を、皆さんの力で残していただきたい。」

最後は、絶叫でした。選挙後、支援者の方々から、言われました。「さいとうさん、火種が残ったね。」と。

さいとう健は、これから、大きな火となって燃え上がります。どうぞ、皆様、変わらぬご支援のほど、何卒、よろしく願いたします。

衆議院議員 さいとう 健

討議資料